宮城県大崎保健所栗原支所　感染症発生動向調査情報

（令和8年10月23日発行）

1.定点把握対象疾患の発生動向　※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数　、下段は一つの定点（医療機関）あたり一週間に診断した患者数。＊は急性呼吸器感染症（ARI）に含まれる感染症。

疾病		疫学週 39週 9月21日～9月27日	40週 9月28日～10月4日	41週 10月5日～10月11日	42週 10月12日～10月18日
急性呼吸器感染症（ARI）・新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ	急性呼吸器感染症（ARI）	499 99.80	477 95.40	520 104.00	379 75.80
	インフルエンザ ＊	36 7.20	22 4.40	46 9.20	22 4.40
	新型コロナウイルス感染症 ＊	10 2.00	6 1.20	4 0.80	1 0.20
小児科定点	RSウイルス感染症 ＊	1 0.33			2 0.67
	咽頭結膜熱 ＊				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ＊	4 1.33	3 1.00	4 1.33	1 0.33
	感染性胃腸炎	1 0.33		1 0.33	
	水痘		2 0.67		2 0.67
	手足口病	9 3.00	5 1.67	13 4.33	10 3.33
	伝染性紅斑				
	突発性発しん		3 1.00	2 0.67	
	ヘルパンギーナ ＊	4 1.33	1 0.33	3 1.00	5 1.67
	流行性耳下腺炎				
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎		1 1.00		
基幹定点	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）				
	細菌性髄膜炎（真菌性を含む）				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎（小児科）		1	1	1
	川崎病		1		
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数：内科定点2施設　小児科定点3施設　眼科定点1施設　基幹定点1施設

2. 集団発生状況　※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	ー	ー	ー
備考			

◎：複数対応中、〇：対応施設あり、ー：対応無し

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品（手洗いチェッカー、CO2センサー）の貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



手洗いチェッカー　申込はこちら

3.栗原支所より

【 全数報告疾病 】※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 4類　ツツガムシ病　男性　1名

【 定点把握対象疾患の発生動向 】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 急性呼吸器感染症、インフルエンザともに減少傾向ですが、複数の種類のウイルスによる感染症の発生が継続していますので、引き続き咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗いなどの基本的な感染対策に心がけましょう。

【 集団発生状況 】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づき、全数報告対象の感染症を診断した場合は、最寄り保健所への医師の届出が必要です。
・オンラインでも届け出が可能です。アカウントの発行、システムへのログインはこちらからどうぞ。

アカウント発行　システムログイン

【感染症コラム～急性灰白髄炎（ポリオ）～】

- ポリオウイルスを原因とする感染症で、1960年代頃まで「小児まひ」と恐れられました。1980年以降、国内での発生報告はありませんが、海外では流行が続いている国もあります。
- 主に便等を介した経口感染で、飛沫・接触感染を起こすこともあります。成人が感染することもありますが、乳幼児がかかることが多いです。
- 4～35日（通常7～10日程度）の潜伏期間を経て、1～10日間の風邪に似た前駆症状の後、四肢の非対称性の弛緩性麻痺が出現します。麻痺は完全に回復しますが、一部症例では永続的な後遺症を残す可能性もあります。感染者の90%が無症状か軽傷です。
- 予防はワクチン接種が有効です。2024年4月より、5種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・Hib）を初回接種3回、追加接種1回、合計4回の接種をするシステムになっています。

大崎保健所栗原支所　疾病対策班
☎0228-22-2117　0228-22-7594